

No	補助・単独	交付対象事業名称	事業概要	事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期	事業費(円)		事業内容(実績)	効果検証
								充当額(円)		
合計							471,231,413	※交付決定額	377,702,000	
1	単	GIGAスクール児童生徒等端末整備事業	学校の臨時休業等の期間中も切れ目ない学習環境を提供するため、GIGAスクール構想関連事業等との連携による児童生徒や教職員が学校や自宅で使うPC端末の整備を行う。	矢巾町	R2.5.1	R3.3.31	112,868,800	50,598,000	小中学校全児童生徒の1/3 及び教職員等のPC端末購入 961台 小中学校全児童生徒の2/3分の端末費以外の経費 1,459台分	GIGAスクール構想と連携して小中学校全児童生徒及び教職員等にPC端末を整備し、新型コロナによる学校の臨時休業等にも対応できる学習環境の構築が図られた。
2	単	学校の臨時休業に伴う学習等への支援事業	学校の臨時休業等に伴い、サポートスタッフによるきめ細かな支援・相談等の拡充を図る。	矢巾町	R2.5.1	R2.12.31	3,150,573	3,150,000	サポートスタッフ雇用(3人、5～3月)	サポートスタッフを配置したことにより、コロナ禍の中でもきめ細かな支援・相談等の対応を図ることができた。
3	単	高速無線インターネット通信網構築事業	新型コロナウイルス感染拡大対策と併せて脱コロナ後に向けた新しい生活様式の定着を図るため、町内を広くカバーする高速無線インターネット通信網を構築する。これによって、非常時における役場等公共施設の閉鎖時にも事業継続が可能な防疫・防災体制を整備するとともに、GIGAスクール構想に基づく小中学校のオンライン授業や在宅オンライン学習、各コミュニティ施設を結ぶオンラインでの健康づくり事業、医療機関の遠隔診療、町内企業のテレワーク等の推進に資する。	矢巾町	R2.5.1	R2.7.31	39,317,600	39,317,000	無線アンテナ設置工事費用 公共施設等60箇所分	町内の公共施設群をを広くカバーする高速無線インターネット通信網を構築し、情報インフラの面からウィズコロナ・アフターコロナにおける新しい生活様式の基盤整備が図られた。
4	単	住民サービス継続事業	役場庁舎が新型コロナウイルス感染症等により閉鎖となった場合においても、代替施設で住民記録システムを使用した住民サービスを継続するため、印刷機及びモバイルルータを調達する。	矢巾町	R2.4.1	R3.4.27	1,905,926	1,905,000	モバイルルータ購入 3台 住民記録システム用印刷機購入 帳票印刷用 4台 大型印刷機 1台 通信料 5～2月分	新型コロナにより役場庁舎が閉鎖した場合でも住民サービスが対応可能な機器を早期に整備し、コロナ禍にあっても適切に住民サービスの継続を図ることができた。
5	単	役場庁舎ウェブ会議環境整備事業	新型コロナウイルス感染症対策により外部の関係機関や事業者等との間でウェブ会議を行う必要性が増しているが、役場庁舎に対応できる環境がないため、ウェブ会議環境を整備する。	矢巾町	R2.4.1	R3.3.31	560,142	560,000	ウェブ会議環境構築 ウェブ会議用通信費 1～2月分	ウェブ会議環境を構築したことにより、新型コロナの感染拡大に伴うウェブ会議の増加に対応し、各種会議や打合せ等に大きな支障を来たことなく業務を継続することができた。
6	単	避難所感染防止事業	非常時に新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ避難所を分散して設置・運営するために必要な物資を購入する。	矢巾町	R2.5.1	R3.3.31	5,140,740	5,140,000	避難所用物資(段ボールベッド、マットレス、毛布、タイベックスーツ等)購入 避難所50箇所分	町内全域の避難所に必要な新型コロナ対策物資を購入し、職員や地域住民による訓練を実施することにより、新型コロナ感染症拡大に対応した避難所運営ができる体制の構築が図られた。
7	単	公共施設感染防止事業	役場庁舎や小中学校等の公共施設において、新型コロナウイルス感染予防措置を講ずるために必要な物資を購入する。	矢巾町	R2.8.1	R2.10.30	4,787,710	4,787,000	公共施設用物資 サーモグラフィー装置 1台 感染予防消耗品(消毒剤、体温計、タオル、パーテーション等)購入	多くの人が利用する公共施設にサーモグラフィー及び感染予防物資を配備することにより、新型コロナ感染症の拡大防止を図ることができた。
8	単	医療福祉施設等感染防止事業	町内の医療機関・福祉施設及び妊婦に対して、新型コロナウイルス感染予防措置を講ずるために必要な物資を購入し配布する。	医療機関・福祉施設及び妊婦	R2.8.1	R3.3.31	1,155,895	1,155,000	医療機関・福祉施設及び妊婦用物資購入 フェイスシールド、感染防止用ガウン、ブリーションセット、マスク マスク送料(妊婦用)	町内の医療・福祉施設等に新型コロナ感染症予防のための物資を供給することにより、各施設内での感染予防やクラスター発生抑止を図ることができた。
9	単	図書館パワーアップ事業	町図書センターに図書消毒機を整備し、新型コロナウイルス感染症のまん延防止を図る。	矢巾町	R2.9.1	R3.3.31	1,320,000	1,320,000	図書消毒機 1台	図書消毒機の導入により、不特定多数が利用する図書センターにおいて新型コロナ感染症の感染予防を図ることができた。
10	単	中小企業等新型コロナウイルス感染症対策資金支援事業	新型コロナウイルス感染症により影響を受けた中小企業等の経営安定化を図るため、岩手県新型コロナウイルス感染症対策資金を利用した者に対し、利子補給や保証料の助成など金融面での支援を行う。	町内中小企業者等	R2.5.1	R3.3.31	32,308,851	32,308,000	岩手県新型コロナウイルス感染症対策資金利用者への利子補給3年分、保証料全額 利子補給 45件 保証料補給 45件	コロナ禍により町内企業の多くが経営に打撃を受ける中、利子補給や保証料補給を行うことにより企業活動の継続支援を図ることができた。
11	単	地域企業経営継続支援事業	新型コロナウイルスにより経済情勢の影響を大きく受けて困窮している中小企業、個人事業主の経営継続を支援するため、店舗賃料の一部(賃料の2×3か月分)を支援する。	町内中小企業者等	R2.4.1	R2.6.30	6,008,000	6,008,000	事業者への補助金 A) 新型コロナによる減収5割以上 想定件数27件 B) 新型コロナによる減収3割以上(町単独補助) 想定件数18件	コロナ禍により町内企業の多くが経営に打撃を受ける中、県と協調して店舗賃料の補助を行うことで企業活動の継続支援を図ることができた。
12	単	持続可能な農業経営体育成事業	集落営農組織に対し新型コロナウイルスによりコロナ対策に必要な費用の一部を支援する。	集落営農組織	R2.9.1	R4.3.31	481,400	481,000	事業者に対する補助金 1組織あたり16,600円×29組織	コロナ禍により町内の集落営農組織の多くが打撃を受ける中、補助金交付により各組織の新型コロナ対策を推進することができた。

No	補助・単独	交付対象事業名称	事業概要	事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	事業費(円)		事業内容(実績)	効果検証
								充当額(円)		
13	単	農畜産物消費者PR事業	新型コロナウイルスの影響で需要が減少した農畜産物の消費拡大を図るためPRを行う。	矢巾町	R2.9.1	R3.3.31	23,804	23,000	農産物消費拡大PRチラシ等紙代 A4用紙 4箱 A3用紙 5箱	コロナ禍にあってもPR活動の支援を行うことで、農業生産者等のモチベーションの維持・向上を図るとともに、消費者に対して情報発信を積極的に行い、農畜産物消費の維持拡大に資することができた。
14	単	赤ちゃん子育て応援給付金事業	新型コロナウイルス感染症に係る国の緊急経済対策として実施された特別定額給付金の対象とならない令和2年4月28日以降に生まれた子どもを対象に、感染症予防対策に伴う子育て世帯の生活安定のため、緊急かつ臨時的に給付金を支給する。	令和2年2月28日から令和3年3月31日までの間に生まれた赤ちゃんがいる世帯	R2.4.1	R3.3.31	16,225,258	15,525,000	給付金 100,000円×162人 需用費(ゴム印) 通信運搬費	コロナ禍で赤ちゃんが生まれ、生活の負担が増している家庭に対し迅速に給付金を支給することで、各家庭の生活安定を図ることができた。
15	単	小学校修学旅行バス借上事業	小学校4校が修学旅行で使用する借上げバスについて、新型コロナウイルス感染症対策で座席の間隔を確保するため必要なバスの台数が増えることから、増便分の借上料を負担することで保護者の家計負担の軽減を図る。	バス事業者	R2.9.1	R2.10.30	1,002,640	1,002,000	バス借上料 徳田小学校、不動小学校、矢巾東小学校	コロナ禍で各家庭の生活に影響が出ている中、各小学校の修学旅行に係るさらなる負担増を緩和することができた。
16	補	学校保健特別対策事業費補助金(感染症対策のためのマスク等購入支援事業、特別支援学校スクールバス感染症対策支援事業及び学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業に限る)	新型コロナウイルス感染症対策のため、町内の小中学校で使用するマスク、消毒液等の消耗品を購入する。	町内小中学校 6校	R2.6.1	R3.3.31	1,071,623	664,000	マスク、消毒液等物品購入 徳田小学校、煙山小学校、不動小学校、矢巾東小学校 矢巾中学校、矢巾北中学校	町内全小中学校に新型コロナ感染症対策物資を配備し、コロナ禍の中でも学校活動の継続を図ることができた。
17	補	学校臨時休業対策費補助金	小中学校の学校臨時休業に伴い発生した給食のパン及び牛乳の違約金を支払うことで、保護者の家計負担の軽減を図る。	パン加工業者、パン小麦供給業者、牛乳供給業者	R2.9.1	R3.3.31	501,108	126,000	違約金のうち学校設置者負担分の支払い	コロナ禍で各家庭の生活に影響が出ている中、学校給食のキャンセルに係る違約金分を町が負担することにより、保護者のさらなる負担増を緩和することができた。
18	単	矢巾町新型コロナウイルス感染症対応基金造成事業	新型コロナウイルス感染症により影響を受けた企業に対する利子及び保証料補給を継続的に行うための基金を造成する。	町内中小企業へ融資した金融機関	R2.9.1	R3.3.31	94,754,000	94,754,000	基金造成 利子補給 R3年度～R5年度 想定件数45件 保証料補給 R3年度～R5年度 想定件数45件	コロナ禍の長期化が予想される中、基金造成によって継続的な企業支援を行うための財政的基盤を構築することができた。
19	単	農業経営体支援事業	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による農業収入の減少等に備えるため、町内の農業者が収入保険に加入する場合には、保険料の一部を補助することで、農業者の事業継続に向けた負担軽減とリスクへの備えの強化を図る。	令和3年度分の収入保険に加入する農業経営体	R3.1.1	R3.3.31	2,939,000	2,939,000	補助金 加入継続経営体分 加入者数58 新規加入見込経営体分 加入者数23	先の見えないコロナ禍にあっても農業者の不安が増す中、収入保険加入を支援することで農業者の事業継続を支えリスク軽減に資することができた。
20	単	繁殖牛出荷支援事業	新型コロナウイルス感染症で打撃を受けている和牛繁殖農家が県内市場へ子牛を出荷する際に必要な経費の一部を助成する。	町内和牛繁殖農家	R2.9.1	R3.5.25	2,180,000	2,180,000	補助金 出荷費用の一部に対する定額助成 10,000円×218頭	コロナ禍により和牛繁殖農家の経営に影響が出ている中、出荷費用の支援を行うことで事業継続を後押しするとともに、市場への食糧供給の維持に資することができた。
21	単	もち米消費拡大支援事業	新型コロナウイルスの影響で需要が減少しているもち米の消費拡大を図るため、事業実施主体組織体に対し負担金を支出する。	矢巾町農業対策会議	R2.9.1	R3.3.31	517,000	218,000	負担金 餅PR事業費、消費拡大イベント費	コロナ禍にあっても積極的にもち米の消費拡大に向け努力している事業体に対して活動費用の一部を支援し、生産者の意欲向上や事業継続を図ることができた。
22	単	役場庁舎感染予防対策事業	役場庁舎窓口における感染症予防に必要な資材を購入する。	矢巾町	R2.11.1	R3.2.28	967,959	967,000	感染症予防用物品購入に係る需用費 パーティション等消耗品 コロナ対策周知リーフレット(11,500部)	不特定多数の利用者が出入りし新型コロナ感染リスクの高い役場庁舎窓口に感染予防物品を配備するとともに、利用者に感染防止の注意を呼び掛けるリーフレットを配布し、庁舎内での感染防止を図ることができた。
23	補	公立学校情報機器整備費補助金(学校からの遠隔学習機能の強化事業及びGIGAスクールサポーター配置支援事業に限る)	GIGAスクールのオンライン授業発信にのために必要なマイク、カメラ等を小中学校に整備する。	矢巾町	R3.2.1	R3.3.31	420,840	150,000	オンライン授業発信に係る設備(マイク、カメラ等)の備品購入 徳田小学校、煙山小学校、不動小学校、矢巾東小学校 矢巾中学校、矢巾北中学校	各小中学校にオンライン発信の設備を整え、新型コロナ感染症拡大による臨時休校等の際にも学習活動が継続できる体制構築を図ることができた。

No	補助・単独	交付対象事業名称	事業概要	事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期	事業費(円)		事業内容(実績)	効果検証
								充当額(円)		
24	単	コミュニティ公園整備事業	町内にある地域の公園を、新しい生活様式に対応した安全・安心な遊び場として整備するため、遊具の修繕・撤去を行う。	矢巾町	R2.10.1	R3.3.31	9,515,000	9,515,000	遊具の修繕・撤去工事 撤去33基 修繕6基	町内コミュニティ公園内の危険な遊具を撤去・修繕することにより、各公園をコロナ禍の中でも安全・安心な遊び場として地域住民の利用に供することができた。
25	単	テレワーク環境構築事業	コロナ禍においても行政サービスの維持を図るため、役場職員がテレワーク・分散勤務を行うための環境を構築する。	矢巾町	R2.11.1	R2.12.31	5,865,200	5,865,000	テレワーク環境の整備 通信設定 テレワーク環境構築(30ライセンス、5年保守)	新型コロナ感染症拡大による役場閉鎖や職員の出勤停止の際にもリモートワークが可能な機器を整備し、事務の継続と行政サービスの維持を図る体制を構築することができた。
26	単	テレワーク対応勤怠管理システム導入事業	コロナ禍においても行政サービスの維持を図るため、テレワーク・分散勤務に向けた勤怠管理システムを導入する。	矢巾町	R3.3.1	R3.3.31	18,955,277	18,955,000	勤怠管理システム構築 システム構築、ネットワーク設定	新型コロナ感染症拡大に伴い職員がリモートワーク対応となった際にも適切な事務管理が行えるシステムを導入し、テレワーク環境整備と併せて事務継続と行政サービス維持を図る体制を構築することができた。
27	単	バス購入事業	町が各種事業でバスによる輸送を行う際、新型コロナウイルス感染リスクを低減させるためにソーシャルディスタンスを確保し定員の半分程度の乗車人数で運用する必要があることから、新たにバス2台を購入し、新しい生活様式に対応した形で輸送能力の維持を図る。	矢巾町	R2.7.1	R3.3.31	14,202,540	14,202,000	車両購入及び損害保険 マイクロバス 2台	バスの購入により、新型コロナ感染症拡大局面での事業の際もソーシャルディスタンスを確保しながら輸送を行うことができた。
28	単	町立児童館感染防止対策事業	学童保育を行う町立児童館に、新型コロナウイルス感染防止を図るためエアコンを整備する。	矢巾町	R3.3.1	R3.3.31	1,463,000	1,463,000	エアコン設置工事 3台	エアコンの整備により、多くの児童が利用する児童館での新型コロナ感染症クラスターの発生抑止を図ることができた。
29	単	移動スーパーによる地域の生活支援事業	町内の買い物難民を支援し、あわせて高齢者や単身世帯の見守りの役割も担う移動スーパー生活支援事業を行う。	農産物販売事業者	R3.3.1	R3.3.31	4,300,000	0	移動スーパー生活支援事業補助 移動販売の車両調達(1台)及び運営	新型コロナ感染症拡大防止のため、地域住民同士の交流自粛や外出控えが進んでいる中、移動スーパー事業によって地域の見守りと生活物資供給に資することができた。
30	単	アスレチック施設整備事業	コロナ禍で外出が制限され子供たちの体力と健康づくりの機会が損なわれている中、安全な環境でのびのびと運動が行える場を提供するとともに、町外からの誘客促進によって地域経済の活性化を図るため、現在使われていない町屋内プールを改修してアスレチック施設を整備する。	矢巾町	R2.12.1	R2.12.31	58,522,200	37,876,000	施設改修工事費及び設計・監理 1施設	コロナ禍で子どもたちの遊び場が少ない中、遊休施設の改修によって新型コロナ感染症予防に十分な対策が施された屋内運動施設が整備され、安全・安心な遊び場の拡大が図られた。
31	単	中学生ハンドボール大会実施事業	脱コロナに向けた機運醸成のため企画したハンドボール中学生広域大会が新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となり、その準備のためにかかった費用を負担することで保護者及び関係者の負担の軽減を図る。	大会運営に係る関係者及び物品調達事業者	R2.11	R2.12	520,127	520,000	大会準備に係る費用 大会消耗品、賞状筆耕、優勝カップ購入	新型コロナ感染症拡大によりハンドボール大会は中止となってしまったが、町が費用を負担することにより、関係者の負担が軽減され、次回大会に向けたモチベーションの維持が図られた。
32	単	テレビを活用した広報システム構築事業	主にテレビから情報を得ている町民に向けて、テレビの地上波デジタルデータ放送を活用し町の情報を発信する仕組みを構築し、非接触による広報手段の強化を図る。	矢巾町	R3.3	R3.3	1,177,000	1,177,000	広報システム構築(1年間利用料含む)	コロナ禍によって地域の回覧板が使えなくなるなど情報伝達手段が少なくなる中、新たに地上波デジタル放送を活用した情報伝達手段を確保し、町内全域に必要な情報発信を行う仕組みを構築することができた。
33	補	学校保健特別対策事業費補助金	学校再開に伴い、学校での新型コロナウイルス感染症対策のため、空気清浄機や加湿器、ジェットファンなどの備品及び非接触型の体温計などの消耗品を購入する。	矢巾町	R2.7	R3.3	8,462,200	4,212,000	感染防止用備品・消耗品購入 徳田小学校、煙山小学校、不動小学校、矢巾東小学校 矢巾中学校、矢巾北中学校	コロナ禍の長期化が懸念される中、町内小中学校に新型コロナ感染症予防のための物資や機材を配備することで、各学校の学習活動継続に資することができた。
34	単	デジタル教材導入事業	デジタルドリル教材を導入することで、コロナによる臨時休業時にも家庭学習ができる環境を確保する。	矢巾町	R3.3	R3.3	9,900,000	9,900,000	デジタルドリル運用体制構築 徳田小学校、煙山小学校、不動小学校、矢巾東小学校 矢巾中学校、矢巾北中学校	GIGAスクール構想と連携した小中学校へのPC端末導入に併せて、デジタルドリル教材が利用できる環境を整備することで、ソフト面から新型コロナ感染症拡大による臨時休校等にも対応した児童生徒の学習活動継続を支援することができた。
35	単	矢巾勤労者共同福祉センター支援事業	矢巾勤労者共同福祉センターの収入がコロナ禍で落ち込み、経営に支障が出ていることから、指定管理者に対して支援を行う。	矢巾勤労者共同福祉センター指定管理者	R3.3	R3.3	2,000,000	2,000,000	指定管理者支援金	矢巾勤労者共同福祉センターの指定管理者の経営を支えることにより、コロナ禍で利用者が落ち込む中であっても事業継続が図られ、行政サービスの維持を図ることができた。
36	単	矢巾町国民保養センター支援事業	矢巾国民保養センターの収入がコロナ禍で落ち込み、経営に支障が出ていることから、指定管理者に対して支援を行う。	矢巾町国民保養センター指定管理者	R2.12	R2.12	6,740,000	6,740,000	指定管理者支援金	矢巾町国民保養センターの指定管理者の経営を支えることにより、コロナ禍で利用者が落ち込む中であっても事業継続が図られ、行政サービスの維持を図ることができた。